

# バレーボール・春季関東大学リーグ戦

## あと一歩 9勝2敗で2位

4月13日から5月19日まで、春季関東大学男子バレーボールリーグ戦が行われた。昨年の全日本大学選手権(インカレ)から躍進を続けるバレーボール部は9勝2敗で2位となった。



▲ チームを引っ張った長友主将

個人賞では敢闘選手賞に長友優磨主将(商4・都城工高)、スパイク賞に高橋拓也(経済2・東亜学園高)、セッター賞に山本湧(商3・東亜学園高)が選出された。開幕から中大、慶大にストレート勝ちを収め好調なスタートを切るも、その後の筑波大、日体大に連敗を喫する。そこから本来の実力を発揮し7連勝。昨年のインカレで

取れた早大にもフルセットを決める。チームの中心であるウイングスパイカ(10勝1敗)との差は埋まらなかった。チームは全てのプレーでレベルの高さをうかがわせる。セッターの山本も堂々たるプレーを見せ、チーム層に厚みをもたせた。長友はエースの仕事をするし、チームのピンチを何度も救う見事な活躍を見せた。吉岡達仁監督は「次の東日本大学選手権では相手を圧倒するバレーで優勝する」と語った。(村上大晃・文3〓写真も)

- スパイク賞 高橋拓也
- セッター賞 山本 湧
- 敢闘賞 長友優磨 (写真左から)



▲ 個人賞を受賞した高橋拓也(左)、山本湧(中)、長友優磨(右)

## 卓球・春季関東学生リーグ戦 大健闘 男女とも2位

### 鈴木李茄が最優秀新人賞

5月2日から14日まで、卓球の春季関東学生リーグ戦が代々木第二体育館で行われ、専大は男女ともに2位となった。個人では女子の鈴木李茄(商1・青森山田高)が最優秀新人賞と優秀選手賞を、男子の飯野弘義(経営4・湘南工科大附高)が優秀選手賞を受賞した。女子は強力な新戦力である鈴木や庄司有貴(文1・青森山田高)をシングルス、ダブルスそれぞれに投入し、白星を重ねていった。途中、淑徳大には敗れたものの中大、青学大、日体大に立て続けに勝利し、この時点で2位が確定。最終日の早大戦は惜しくも敗れた

# 専大スポ

No.327

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com) でも大会結果を配信しています

## サッカー・関東大学リーグ戦 前半終え首位キープ



▲ 攻撃の要・長澤主将(撮影・岡野)

4月6日に開幕した関東大学サッカーリーグ戦の前半が、5月26日の日体大戦で終了した。専大は7勝1敗1分けの勝ち点22で、首位をキープし、たまに9月から始まる後半戦に臨む。3連覇を目指す専大は、開幕戦から怒濤の5連勝。失点こそしているものの、それを上回る攻撃力で勝ち点を重ねていった。ところが第6節の

原高)。アシストランキングでも稲葉圭吾(商4・帝京第三高)、北爪、仲川、長澤主将の4人がトップに並んでいる。長澤主将は「自分たちが研究される立場だということを強く感じた。先制点を許す試合展開を愛さなければ後期は厳しくなる」と課題を語った。(石川達也・人間科学2)

### 2回戦で敗退

サッカー・関東大学トーナメント  
関東大学サッカートーナメント(6月1〜9日、静岡県時之栖スポーツセンター)は2回戦で青山学院大に2-3でまさかの敗戦。総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントの出場を逃した。



▲ 二つの個人賞を受賞した鈴木

た男子最終日の相手は、ここまで5勝1敗と波に乗る中大。上位に食い込むには勝利が絶対条件だったが、専大はゲームカウント1-3と追い詰められてしまう。しかし5番手の徳島剛(商1・福井商高)の勝利で流れに乗り、専大はその後2ゲームを連取。中大を逆転で降し総合成績5勝2敗と結果を残した。(湯澤時生・人間科学2〓写真も)

### 女子総合4位 男子は5位

フェンシング・関東学生リーグ戦  
関東学生フェンシング「た」と振り返るとおり、リーグ戦が5月12日からフルレは初戦の日体大に勝利したものの、その後には対戦相手にのまれ、粘ることができなかった。総合順位は女子が4位、男子が5位だった。高橋風子(商2・聖霊女子短大付高)が「個々の力では劣っていないが、チームとして作戦不足だった。サウスポーの鈴木李茄はJOCエリートアカデミー期生で、2011年度高校総体女子シングルスで優勝。専大では1年次から団体戦のレギュラーに名を連ね、粘り強いプレーで今春のリーグ戦2位の立役者となった。(湯澤)

## 第27回ユニバーシアード 5競技に9人が出場



▲ バスケットボール・加藤

### バスケットボール

男子代表に選ばれたガドの宇都直輝(経営2・中部大第一高)は、昨年のリーグ戦では1試合平均23得点を稼ぎ3年連続得点王に輝いた大学界屈指のスコアラー。女子代表のフォワードに選ばれた加藤夕貴(文4・明星学園高)は自ら素早いドリブルと強いフィジカルで得点を生み出す期待の選手だ。(石川)

### 卓球

サウスポーの鈴木李茄はJOCエリートアカデミー期生で、2011年度高校総体女子シングルスで優勝。専大では1年次から団体戦のレギュラーに名を連ね、粘り強いプレーで今春のリーグ戦2位の立役者となった。(湯澤)

### フェンシング

女子フルレの川村理紗(商2・揖斐高)は、冷静な判断力で相手を見て攻撃するスタイル。ワールドカップにも参加しており国際大会の実績も十分。スピードある剣さばきでの活躍が期待される。(森本)

### サッカー

横浜・F・マリノスの強化指定選手で、専大の得点源である長澤和輝主将と、中盤でゲームを作る司令塔の下田北斗(人間科学4・大清水高)がMFとして選出。DFには1年次から専大不動の右SBを担う北爪健吾。FWには現在専大のエースとして10番を背負う仲川輝人が選ばれ、連覇をを目指す。(鈴木)



▲ フェンシング・川村